



名古屋いのちの電話

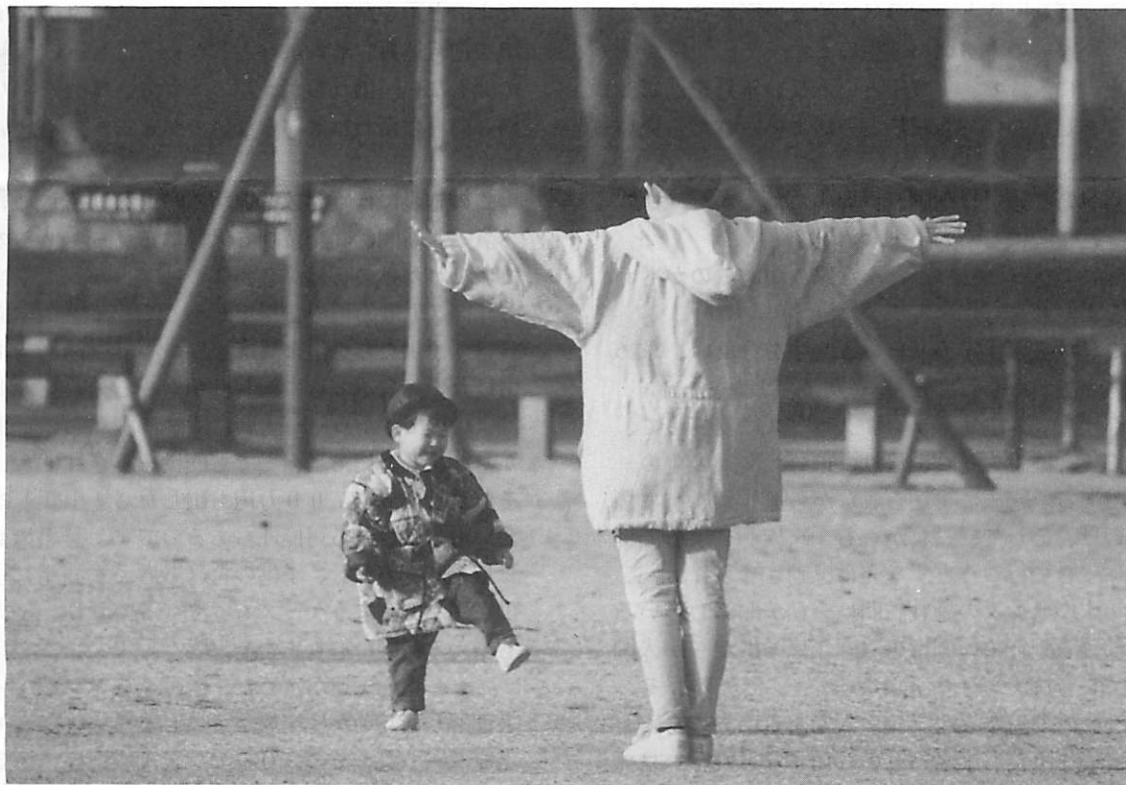


写真 文 珠 幹 夫

しあわせ

歩きはじめてばかりの坊やは
歩くことで しあわせ

歌を覚えたての子どもは
うたうことで しあわせ

ミシンを習いたての娘は
ミシンをまわすだけでしあわせ

そんな身近なしあわせを
忘れがちなおとなたち

でも こころの傷を
なおしてくれるのは

これら 小さな

小さな しあわせ

(高田敏子詩集Iより)

家 族



小 山 勇

私は、「家族」という文字を見て、温かい感じがする。私は、そういう家族を経験した記憶がありません。私は、近所の子どもの母親にあこがれていました。自分の家は……。

やっぱり家族というのは、冷たい家族ではなく、温かい家族の方がいいと思います。

施設に入って、10年という長い年月を過ごしてきました。今でも家族と一緒にいられたらいいなと思います。

親がない子は全国、世界中にたくさんいます。身近な所にも一人います。

施設で育った私は、どんな家族があるのかもわからず育ちました。

これからも「家族」という文字を背負い、求めていくのかもしれませんが。(友子 16歳)

昨年12月中旬、サンタクロスに変装して、ある養護施設を訪問、帰りに頂いた文集の中の一編である。家族に裏切られながらも「家族」に憧れ続け、そして、これからも「家族」を求めて健気に生きて行こうとする姿に感動させられた。

年末のサンタの施設訪問は、私が関係している中部善意銀行の恒例行事。昨年は子供たちが入園している施設を3カ所回らせてもらったが、その1つに乳幼児から小学校に入学するまでの身寄りのない子供たち(身寄りのない子などいないはずだが……)約50人を預かる若葉寮(尾張旭市)があった。昼寝を終えた園児たちが保育さんに連れられ遊戯室に集っていた。プレゼントの入った袋を背負ったサンタの登場に大歓声を挙げて歓迎してくれた。一人ひとりに銀色の長靴に入ったお菓子を手渡すのだが、澄んだつぶらな瞳、つやつや

した赤い頬、文字通りモミジのような可愛い手、何の屈託もなく笑顔で受け取る姿に、思わずはめていた白い手袋(サンタ用具の一つ)を脱ぎ捨て、頬を撫ぜ、手を握りしめ「いい子で大きくなるんだよ」と声をかけてしまった。赤いサンタのズボンを抱え込み、離れようとしないうちもいる。何の罪もない子供たちが、親のエゴで、なぜこんな淋しい目に合わねばならないのかと胸ふさぐ想いであった。

この施設には園児数を上回る職員が勤務している。24時間、3交替制で保育にあたっているのので、それだけの職員が必要なわけで、園児1人当り年間700万円の費用がかかるそうだ。山田園長は「子供たちを出来れば家族の中で生活させてあげたい。日本でも里親制度がもっと一般化すればよいのですが……里親に対する国からの補助が月5、6万円では、とても面倒をみきれないし、それかといって700万円も出したら「里親」を食いものにされる可能性もあるのです。離婚の数は増える一方だし、子供の将来も考えず簡単に子供を生んでしまうケースも多くなっており、園児も増える傾向にあります」と嘆く。

ことは、国連が定めた「国際家族年」ちょっと理解しにくい「家族からはじまる小さなデモクラシー」が、そのスローガン。家族とは「複数の人間によって成り立ち、社会を形成する一番小さな単位」ということだそうだが、もしこの基本的部分が崩壊してしまったら民主主義も駄目になってしまうということである。時代の流れとともに家族の構造的変化も急ピッチで進んでおり、家庭内暴力にはじまって、離婚率の増加、はては「別姓夫婦」など、「家族」に拘束されることを嫌う人も多い。しかし、明るく、温かい家族こそ社会の基本であり、心の支えとなってくれるものである。どんな事態が起きようとも、せめて子供たちには、家族の愛をいっぱい注ぎ、家族の大事さを次の世代に繋げて行ってほしい。友子さんの幸せを願いつつ。

(本協会監事 中日新聞社専務取締役)



こんなおかしな矛盾があります。

他人の力を借りなくてもひとりで生きていく頭脳と体力を兼ね備えている若者には、親も国も資金的な援助を惜しまない一方、同年齢でも、知的能力が乏しかったり、身体的に障害を負っていてまだまだ自立する力が不十分な若者には親も国も継続して援助をしようとしません。

例をあげましょう。親側の事情で手元で育てることができず、幼児期から養護施設で成長する子どもたちがいます。

中学を卒業すると、進学する子と就職する子に分かれます。

そこで例えば、医学部に現役合格できるような能力を高校選択時から保障されている子がいたとします。

多分、親が手元に引き取り就職させて家庭経済を支えて欲しいと望んでも、周りが親を説得して奨学金を用意し、施設から進学させてやる援助体勢を作り上げて、難関と言われる高校へ入れることに必死になるに違いありません。

しかし、中卒時の成績がオール1レベルの子は、親も引き取るとは言わず、高校入学もできない力の子を施設も継続して在籍させることはできません。

なんとか自分ひとり食べていく収入のありそうな低所得の労働現場を見つけて送り出し、自立したという名目で児童相談所は措置解除をしておしまい、といったことになるのは目に見えています。

でも、人間は、知的能力が低いとされようと、不公平感を抱く力を失っているわけではありませんから、自己の存在を顕示するため屈折した形で行動を起こしてしまいます。

暴走行為で溜飲を下げる若者たちの中にも該当する子が何人もいるはずです。

その先、暴力団に憧れて組関係に呑み込まれてしまったとき、大人たちは、ただその子だけを悪いと責めて済ませていてよいでしょうか。

女の子であれば、体でお金を稼ぐことができることを知るまでに、そう長い時間は必要ありませんが、その先は悲惨です。

別の例です。17歳の妻が1歳の子を施設へ入れてほしいと児童相談所にきました。

夫は19歳。手取り月収は約15万円。家電製品と車のローンおよび家賃、光熱水道費等に12万円が消えています。

「子どものミルク代が無いから車を処分して」

と夫に頼んだら、「子どもをどこかへ預けろ」、「車は生命より大事だ。」と拒否され、離婚を決意したが子連れでは働き口がないので相談にきたということです。

母親が就労して得られる所得は、せいぜい12万円どまり。

夫の父親は酒乱、母親は夫が幼い頃に家出して行方不明。

母親も離婚家庭の子であり、力になる親族はありません。

辛い思い出があるのでしょうか。

生活保護の受給申請や母子寮入居には強い拒否反応を呈します。

母子分離を避けさせようとした職員の対応に腹をたて、子を抱えて他都市へ流れていき、結局、子どもは施設へ入れられたということです。

苦い反省が残されました。

そして、ここにも矛盾があります。乳児院への公費支弁月額、乳児一人あたりで月約30万円以上かかっています。

ます。

この母親へ子どもの養育費を含めた月15万円生活保障をしても乳児院への公費負担の半分。

親子は別れなくて済むはずです。

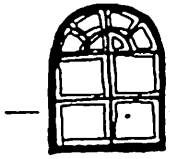
社会的弱者である幼い子どもや老人、障害者、傷病者たちの生存保障を妨げるさまざまな矛盾が一日もはやく解消されることを祈るばかりです。

(訓練スタッフ 児童相談所・児童福祉司)

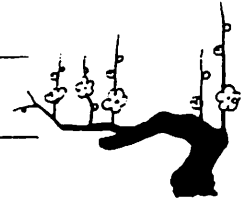
児童養護の現状と矛盾

矢満田 篤 二





窓



古い流れがうたいかける

(第6回 全国電話相談研究集会
ワークショップ・エンカウンターに参加して)

やわらかな秋の日ざしが、雨上りの本堂の木々にそそぎ、小鳥のさえずりも喜々と聞える。奈良法華寺は、町並をはずれた閑静な所にあり、本堂以外は年に数回一般公開されるのみ。その一日を研修のために、厨をのぞいて開放して下さった。掃き清められた庭の敷石に一茎の石菖の花が侘のたたずまいに明るく語りかけてくる。

エンカウンターは、二つのグループに分れている。

奈良大学東山教授は、聖なる場所で、聖なる時間を過ごすように設定されている。じっと佇み、古い流れがうたいかけるのを感じてみよう。なにと出会うことができるだろう?と問いかけられる。

大阪市立大学皆藤助教授は、自己の存在について他者と語りながら、他者の話を聴きながら深く探究していくグループワークを行うとしていましたが、この日は二つのグループが一つになって、この寺内で自由に過ごすことが提案された。

まずは全員で法華寺御門跡の法話を聴くために、書院に移動する。そこには大きな壺や花器に秋の花が見事に活けられていた。

法話は、東大寺に対しての法華寺である寺の由来と、光明皇后は日本で最初にボランティア活動をなさった方であること。癩病者を治療された風呂場が今も保存されているということ。皇室とも深いかわりがあるお寺でもあるとのことでした。

又、電話相談の私たちをねぎらい、励まして下さった。

うす桃色の菊の紋章の上品な和菓子が運ばれ、一服の抹茶は障子を通してくる陽の光りの中で、心にしみいるひとときでした。その後は、本堂に行く人、縁側から山水の庭を眺める人などそれぞれ思い思いの行動をとる。私は本堂に行く。安置されている仏像の説明を聞いた後、回り廊下を静かな呼吸で歩く。日ざしがいっぱい入った板のぬくもりが足を通して心にとどき、子供のころ遊んだ生家の縁側が胸いっぱい広がってきて、あったかい思いになってきた。しばらくその思いを味わう。

広間にもどると、いくつかの話の輪ができていた。東山先生の輪に入ると、そこではウーマンリブだった友人が、母ちゃんになって子育てに生き生きしてとても幸せと言っている友人に感動したと新潟からこられた方の話だった。東山先生も、私も子供が生まれてから、母ちゃんになろうと、自分の研究をストップさせて子育てをしてきたこと、そして子供が大学に入学したその日に子ばなれ宣言をし、子供も母ばなれをして巣立っていったと話された。もう一つの話はショックでした。それは、ある幼稚園でままごと遊びの時に「お母さんになりたい人」と言っても誰も手を上げない。そこでもう一度「お母さんの役やりたい人いないの」と聞いたら、手を上げた子は誰だったと思いますかと問いかけがあり、私が「男の子ですか」と

答えたら「そうなんです。私、ショックでした」と話を続けられ、「じゃ、なにになりたいの」と聞いたら、「ハイ。ハイ。おねえさん」と何人もの手が上ったのです。親子関係も家庭のありようも変化してきている。それでいいのだろうかと思不安な思いになった。

午後からは薬ぶきの家の座敷で数人が横になっていた。私も横になり、すすけた梁や柱に古代の生活をしのんだり、この家で暮した人々が時代を超えて現われたらどんな話をするのかななどと想像した。

スタッフの方々が用意してくださったお茶やコーヒーを飲み、のんびりと日だまりに遊ぶ。心にとどめていた板のぬくもりがふたたびわき上がってくる。

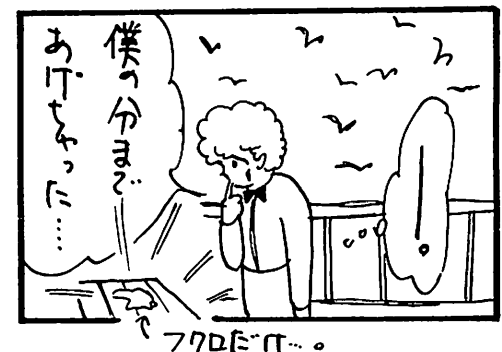
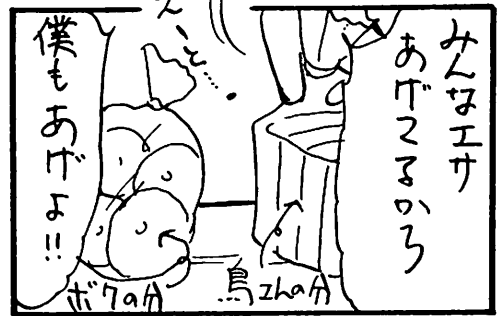
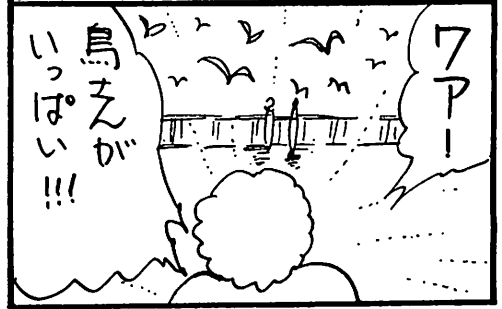
生家の縁側にはよく村人が来て、茶を飲みながら話をしていた。母が縫物や豆類をより分けているそばで話かけたり、母の手元を見て、母のように早くなりたいと思っていた。雨の降る日は子供たちの遊び場にもなっていた。

私もこの縁側のぬくもりを大事にしたい。私の心の縁側も広げて笑顔で出会う人々と語り、いい場でありたい。そして何人かの人には心の奥の間で、ありのままの私と付き合ってくれる。そんな人が増えていったらいいなあと思う。

陽も傾きかけ、風も冷たく感じだしたころ、参加者全員が薬ぶきの家に集まり、今日一日の体験についてひと言ずつわち合いをした。

Aさんは、毎日が時間に追われている生活なので時間に追われず、自分と向き合えてよかった。Bさんは、仏と語ることができました。Cさんは、何もしないことの大切さを感じました。など、仕事や時間や人にもまれる生活の場からはなれて、自然の息吹きにふれ、自分と向き合うことは人間にとって生命のよみがえりであり、古き流れに出会えた最良の日でした。

(Y・S)



ご援助ありがとうございます

1993年10月1日より12月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に
ご報告申し上げます。(順不同・敬称略)

社会福祉法人愛知「いのちの電話」協会
理事長 相馬 信夫
財務委員会

賛助会員 (A)

山志志星神蟹伊豊豊直	田村村島保トリ藤田田井	早信澄和尚孝英壽	苗夫江空文会一二子豊	西松相布施植青山服福西	沢岡馬田松木田部田村	信 信さ從恵正昌信	正進夫及爾子武六男子	山吉吉中河森小藤加菅	口田田野村 中井藤原	真弘好廣久茂健英迪美	人明枝子也次子春子	豊渡尾西澤嶋内前岩山	田幹辺 清 村田藤田田	司賢幸・信 豊亮正	彬輔夫子修昭弘子二義	志伊須高中須笠朽伊中	村藤田木堀藤井保部山	孝静紀仁よ康裕 政	恵一代子郎子助子宏和	法光寺聖母八内文小井繼	代表島津カキ木藤珠上尾	役員会志子野子一院胤
------------	-------------	----------	------------	-------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	-------------	-----------	------------	------------	------------	-----------	------------	-------------	-------------	------------

賛助会員 (B)

水今林高岩背青豊坂北	谷井 橋野山木理信吾	秀文周玖一 栄・理和	器子子郎玄一彰子朗	三出小太山近堀鈴杉小	輪口原田田藤尾木山沢	淑美 敦久百勇富弘孝	子江覚子子子夫子時子	初加菅養橋勝岡佐野	井藤原寺本沼部木訪村	英 和 富茂 美代 昭秋	夫満夫仲乃功子敏子博	小宮幾一石鈴田祖本林	林木田瀬田木内江田	靖淑文義美 文健比	厚子子枝子人子昭宏次雄	和伊福柏長遠今成横斉	久藤岡谷川藤泉田地藤	英み敬清浪き宗良欣延	子子子彦江み久子也枝	桜児匿飯兼下多福ティ	井玉 塚田村良田	博尚氏子彦子康徳子
------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	--------------	------------	------------	-----------	-----------	-------------	------------	------------	------------	------------	------------	----------	-----------

賛助会員 (C)

樋日河村横近江鳥鈴相松矢	口・村上井藤口居木川田野	次イ公賢公多 平ひ義一博	雄ス子三子美勇和み治路子	若山田末舟真長佐中片岩	山崎中田橋木沼野野岡佐	京あ香鉦芳て百公俊敏	恵子子里一子子子子志	浦安洞野西北西高早菅菅小	下田谷友條島城川原原塩	桂和鈴・三献悦道律芳真美	子子子子示代子子樹弓陽	中花素神金矢末河山徳佐	谷村来原沢野松田田永藤	塩三萬悦典揚幸い敦久辰	子枝子子子子代を代子一	粟岡山古北斉平平鬼松細	田田田谷條藤松野頭浦江	美津美武と松光昌鐘三繁	子江昌昭子郎栄子郎夫幸	高相長町服飯石小小深内	木馬倉田部塚垣幡田山藤	江人子哉枝子三里子子子
--------------	--------------	--------------	--------------	-------------	-------------	------------	------------	--------------	-------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただいております。
○印の方は1993年度賛助会員募集運動に協力し入会して下さった方々です。

点滴

病院の朝は、老人達のパワーで始まるという、言いすぎだろうか。早朝から、男女老人達が、ずらり座っていて、盛んに喋っている。にぎやかなものだ。若い(?)私など、圧倒されてしまう。そして「おみゃーさんは、わしの後だなも」とか、新しい患者には「この人の次だぜ」とおせっかいをやっている。五分前になると、見事一団となって治療室に入って行き、電気を当てる人、温湿布の人と席はすぐ満席になる。

はじめは「いやだあ、私は絶対こんな老人にはならないぞ」と、冷ややかに見ていたが、通院も長くなると考えが変わって来た。皆理屈抜きでいちずに生きているのではなかろうか。腰をまげ、足を引きずりながら一生懸命歩いている老人たちの背中を見ながら、感じはじめたのである。老いると、人は生への執着が強くなるのかも知れない。

考えて見ると戦争を体験した世代である。ちょっとやそとでくじける年代ではない。私が、七十・八十になった時、このパワーが有るだろうかと考えてしまう。

「年寄り笑うな、行く道ぢや」のことわざが頭をかすめる。「いのちの電話」にかけて来る若者の弱々しい話を聞き乍ら、「しっかりしておくれ」と先の老人達のようにおせっかいをやきたくなる私なのです。

(T.M)

寄付金 川久沢川村木橋島沢北
 内森西生野山棚小西中
 邦元正子一子子夫き美
 正つ信和純妙千丈み昌
 中千後鶴秋安山吉中宇
 川波藤田原内田村谷
 鋪富忠和芳律亮 三義
 子美子一子江子一聖郎雄
 小笠大風能管山比谷柳加
 原矢岡登沼下嘉口生藤
 覚徳寺佐久間敬止
 和良み恒タウ江球み
 大富河井丹山河岩藤加
 須田井澤羽崎村崎村藤
 賀田井澤羽崎村崎村藤
 恵 利陽 百敏晚タカ雄
 子稔夫子孝子子子子一
 松近鈴田三傍小森森
 井藤木口井島川田
 ら平子雪子子子子子子
 く浩冨美と千裕浩昭
 方藤橋洞田 野本井
 土安大大山林水山笠
 つ重 陽喜た嘉の康
 や信京子子枝子子子助

日本福音ルーテル名古屋教会
 日本福音ルーテル名古屋教会教会学校
 ルーテル幼稚園父母の会
 ボーイスカウト名古屋98団
 ガールスカウト愛知58団
 幼き聖マリア修道会
 ドミニコ会聖ヨゼフ修道院
 神言神学院
 聖霊病院

興徳寺佐久間敬止
 車いすセンター代表山田昭義
 知多市立看護専門学校自治会
 日本基督教団鳴海教会婦人会
 聖心の布教姉妹会岡崎修道院
 名古屋プラザワイズメンズクラブ
 青山電気(株)代表取締役青山昭
 南山ファミリーYMCA
 南山幼稚園

日本キリスト教会名古屋東教会婦人会
 カトリック押切教会
 カトリック恵方町教会
 宗教者街頭募金
 聖心の布教姉妹会鳴海修道院

クリスマス歳末募金
 木本精之助ス子雄氏子乃り寛江
 日岩田玉名富リ敏茂ゆか多寿
 児匿鈴・A・木・村本智・井橋
 河橋鈴木井橋
 鳥高
 佐竹岩河石牧竹植宮渡大上
 藤内内野田岡内木内辺橋田
 辰宏鉷登義恒哲貞英宜玲裕
 一子一人夫子郎夫親子之
 田多神三水山安齊伊矢大
 村和戸村沢田藤藤藤田島
 茂い一吉み正重喜み篤節
 子子子朗子義信子子二子
 三山村近高小相須太金小
 宅田瀬藤藤嶋谷馬藤田子和
 光す文直剛充康よ美今朝優
 子と男枝郎子人子恵枝江
 林武高町北岡長飯武坂林
 嶋田田 崎野尾保本
 温恵邦隆郁和信て柳康郁
 江子彦哉子子一る彦信子
 内芝芝高五森神平野鈴木
 柱原原橋藤部田田村木野
 綾慶ゆ一昭暉輝た絃逸美代
 子次り美子子夫子子男子

豊橋カトリック教会
 聖心の布教姉妹会
 カトリック東山教会
 カトリック南山教会
 名古屋ユニオンチャーチ
 日本基督教団金城教会
 岩田電算機会計事務所
 日本基督教団熱田教会

聖園天使園
 カトリック平針教会
 金城学院高等学校
 ヘンデル教会
 日本基督教団高蔵寺ニュータウン教会婦人会
 日本基督教団春日井教会
 聖パウロ女子修道会
 カトリック五反城教会

日本基督教団中京教会婦人会
 聖霊奉待布教修道女会
 日本基督教団半田教会
 日本基督教団岡崎教会
 日本基督教団熱田教会婦人会
 井上幼稚園
 日本基督教団名古屋教会
 日本基督教改革派八事教会姉妹会

愛知県共同募金会配分金

法人賛助
 名古屋鉄道(株) (株)アラキ製作所 (株)高津製作所 堀江金属工業(株) (株)オティックス
 東邦ガス(株) (株)シンワ (株)カルビー(株) 大橋鉄工(株) 滝定(株)
 (株)東海工業所 (株)三秀モールド (株)ジュニア 大橋鉄工(株) 住友電装(株)
 中部電力(株) 林紙産業(株) 杉山工業(株) (株)名古屋銀行 豊和工業(株)
 (株)東海銀行 名古屋トヨベツト(株) 理研産業(株) 藤木海運(株) (株)豊田自動織機製作所
 トヨタ自動車(株) (株)高木製作所 (株)山田弥太郎商店 (株)安田生命保険相互 日本電話施設(株)
 岡田工業(株) (株)芝岡製作所 新明工業(株) (株)松坂屋 (株)愛三工業(株)
 (株)東海通信資材サービス (株)伊藤工務店 (株)伊藤工務店 日本電装(株) (株)名古屋観光ホテル
 (株)陣内工業所 (株)サンゲツ (株)サンゲツ サッポロビール(株) トヨタ部品愛知共販(株)
 (株)トヨタレンタリース (株)なつめ (株)なつめ (株)東郷製作所 武田機工(株)
 名古屋 (株)太栄印刷(株) (株)城北自動車学校 (株)尾張精機(株) アイシン精機(株)
 (株)オチアイネクス (株)青雲クラウン (株)杉浦製作所 豊田合成(株) セントラルシステムズ(株)
 大島造園土木(株) (株)東海理化電機製作所 豊田総建(株) 小島プレス工業(株) (株)萬勇
 山下機械(株) 万能工業(株) 猪村工業(株) 中央精機(株) ○豊田通商(株)
 (株)愛知兄弟社 NTT中部電話帳(株) (株)タケヒロ (株)安田火災海上保険(株) ○愛知製鋼(株)
 (株)ワーロン 名証正会員協会 (株)大彦 (株)三五 (株)ブラザー販売(株)
 糸重(株) (株)植屋 鬼頭工業(株) 勸後藤報恩会 岡谷鋼機(株)
 アスゲン製業(株)釜戸工場

賛助会員を募集しています ——— ご協力をお願いします ———

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。
年間2,200万円の運営資金と共に、法人の基金を10年間で1億円積立ての課題を与えられております。
会員の皆様の旧倍のご支援と共に、会員増加の運動にもお力を添えて下さいますようお願いいたします。
法人となり寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円
(2) 賛助会員 (年間1口)
A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
(3) 一般寄付 } はご自由な金額で結構です
(4) 夏期・年末寄付 }
口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会
理事長 相馬 信夫
口座番号 東海銀行大津町支店(普) 477029
郵便振替口座 名古屋 1-53758

名古屋いのちの電話日誌

- 11月 2日 全国ディレクター会議 (於大阪)
6日 相談員自立の会
7日 フリーマーケット (東別院本堂前)
8日 ベルの会
13日 全国電話相談研究集会 (於奈良)
15日 訓練委員会
22日 事務ボランティア会議
24日 財務委員会
26日 愛知電話相談ネットワークの会
29日 総務・10周年記念合同委員会
12月 2日 吉田徳子さんオルガンコンサート
4日 相談員自立の会
13日 ベルの会・訓練委員会
18日 第8期養成講座 1泊研修会
(於多治見修道院)
19日
29日 事務局年末年始休業
1月 4日
8日 相談員自立の会
17日 ベルの会・訓練委員会
18日 総務・10周年記念合同委員会
21日 愛知電話相談ネットワークの会
27日 財務委員会

ご寄付下さる皆様へ

当協会への寄付金については所得税や法人税の優遇措置が受けられます。

- ★ 個人の場合
確定申告によって、所得税法、(第78条2項3号)の規定により寄付金控除が受けられます。
・寄付金額又は } のいずれか低い金額
・所得額×0.25 }
— (1万円) = 寄付金控除額
・なお、相続の場合も申告期限前の寄付金は、控除されます。
- ★ 法人の場合
確定申告によって寄付された金額を法人税法(第37条2項・3項3号)の規定により、一般損金算入の枠の他にこれと同額枠の損金算入枠が認められます。
- ★ 本協会の発行する領収書は上記の措置を受ける確定申告のため大切に保管して下さい。

お問い合わせは・・・
社会福祉法人愛知いのちの電話協会
事務局 ☎ 971-5181

◎1994年度

○全国研修会

日程 11月10日～12日
主管 香川いのちの電話

○日本自殺予防シンポジウム

日程 6月11日
主管 岡山いのちの電話

○全国電話相談研究集会

日程 10月
主管 横浜いのちの電話

○「千葉いのちの電話」法人化する

1993年12月28日付で、社会福祉法人として認可されました。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会

1994. 早春

名古屋いのちの電話

〒461-91 名古屋東郵便局 私書箱第257号

1994年2月1日発行

事務局 ☎052-971-5181

郵便振替口座 名古屋 1-53758

発行人 相馬 信夫

相談電話 ☎052-971-4343

東海銀行大津町支店(普) 預金口座 477029

編集人 広報委員会